

# お知らせ

本園は、園運営に関する保護者の皆様の疑問や不安を解消し、より良い保育サービスを提供できるよう、苦情解決窓口を設置しております。令和5年度に寄せられた苦情やご意見、要望などについて本法人の方針と併せて保護者の皆様にご理解いただきたくお知らせいたします。今後も園児と保護者の皆様、地域の方々に安心して利用していただけるよう、職員一同一層努力してまいりますので、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

## 記

<集計期間 令和6年4月～令和7年3月>

① 苦情受付件数：           0件          

② 相 談 者：実名           0件           (保護者)      匿名           0件          

③ 苦情内容：	解決した件数	
1、 職員の対応（職員の態度、言葉遣いが悪い）	<u>          0件          </u>	<u>          0件          </u>
2、 サービスの質や量（食事の内容等サービスの提供に関する不満）	<u>          0件          </u>	<u>          0件          </u>
3、 利用料（不当な負担額の提示・負担説明不足）	<u>          0件          </u>	<u>          0件          </u>
4、 説明・情報提供（説明が足りない）	<u>          0件          </u>	<u>          0件          </u>
5、 権利侵害（暴力・虐待・プライバシーの侵害などの人権侵害）	<u>          0件          </u>	<u>          0件          </u>
6、 その他（保育体制について）	<u>          0件          </u>	<u>          0件          </u>

④ 第三者委員に通知した苦情件数      匿名           0件          

以上

# 令和6年度 保育所の自己評価

社会福祉法人団体会い保育園南ウイング 保育園 園長 長田 千宗

評価項目と視点		保育士の評価
1	第1章総則 教育・保育の基本 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの最善の利益の考慮</li> <li>・ 保育の環境（人・物・場）の構成</li> <li>・ 子どもの理解、関わり</li> </ul>	93%
2	第2章 保育の内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育のねらい及び内容</li> <li>・ 育ちの見通しに基づく保育</li> </ul>	97%
3	第3章 健康及び安全 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康及び安全の管理</li> <li>・ 健康の保持及び増進に係る取り組み</li> <li>・ 疾病・事故などの発生予防や体制構築</li> </ul>	95%
4	第4章 子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入所する子どもの家庭との連携と子育て支援</li> <li>・ 地域の保護者等に対する子育て支援</li> <li>・ 地域における連携・交流</li> </ul>	94%
5	第5章 職員の資質向上（求める保育士像） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人の理念や保育方針の理解</li> <li>・ 保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等による自己評価</li> <li>・ 自己研鑽や研修への参加</li> </ul>	82%

## 総評

### 【令和6年度運営方針】

- ・ 「子どもの視点に立つ保育」の実践と、保育の質の向上を図る。
- ・ 地域に根ざした、子育て支援活動の拠点となるべく、機能や役割を果たしていく。
- ・ 職員一人一人が主体的に園運営に関わったり、必要な知識や技術を学び保育の専門性を高めたり、自分なりにやりがいを感じる職場を目指す。

日々の保育を振り返ったり、園内研究を通して保育内容の充実を図ったりすることで、職員も子どもたち一人一人に寄り添い子どもの興味関心に沿った保育内容を立案・実施することが出来ていたことから、保育内容の部分の出来ているとの評価が多かった。一方で、職員の資質向上の部分では自己評価が他に比べて低かった。職員一人一人が主体的に園運営に携わり、必要な知識や技術を学び保育の専門性を高められるように積極艇に研修会や勉強会への参加を促していきたい。

運営方針の達成に向けては、子どもの視点に立つ保育を念頭に日々の保育を定期的に見直したり、園内研究で子どもが主体的に過ごせる保育環境について考えたりしてきた。また、地域に根ざした子育て支援の活動拠点となるべく、様々な活動を通していちいの保育を伝えることが出来た。来年度はより地域資源の活用や連携を強化し在園児にも還元できるような取り組みを考えていきたい。

\*総評には保育士の評価の他、運営管理、社会的責任（個人情報保護、説明責任、苦情処理、人材育成、職員研修等）など施設長の責務を含み記載